

●プロジェクト申請の概要

新潟県カーボンオフセットパビリオンチーム

1. プロジェクト名

『苗場山麓 竜神の森』プロジェクト

2. プロジェクトの種類（期間）

間伐促進型プロジェクト（2008年4月1日～2013年3月31日）

3. 申請者

プロジェクト代表事業者：津南町森林組合

（プロジェクトの総括、地域森林管理の実務・推進）

プロジェクト事業者：津南町

（地域森林管理の推進、森林管理実施（間伐実施））

プロジェクト参加者：NPO法人 雪の都GO雪共和国

（オフセット・クレジットの活用及び販売の推進、地域振興の推進）

4. プロジェクトの目的と内容

津南町は世界でも有数の豪雪地帯であり、雪国においては「水」と「山林」は地域の環境を保全するために重要な役割を担っています。

『苗場山麓 竜神の森』プロジェクトは、森林の整備により、環境省の全国名水百選に選定された「竜ヶ窪」に代表される、山林の水土保全機能を維持するとともに、二酸化炭素吸収量を増加させ、地球温暖化を抑えることで、「雪国が100年後も雪国である」ための環境を次世代に残す一助となることを目的としています。

また、創出されたクレジットを利用したカーボン・オフセット商品を開発し、地域NPOや広域連携を活用したクレジット販売の仕組みを構築し、得られた収益により森林整備の推進を図ります。

5. プロジェクト実施地の状況

・場 所…新潟県中魚沼郡津南町（2箇所の森林施業計画の区域）

・間伐面積…165.29 ha

○年度別実施計画

（単位：ha, t-CO2）

年 度	2007	2008	2009	2010	2011	2012	合計
間伐面積	9.91	51.60	32.68	32.63	38.47	0	165.29
	-	(61.51)	(94.19)	(126.82)	(165.29)	(165.29)	-
CO2吸収量	-	438	692	889	1,159	1,128	4,306

※間伐面積下段括弧書＝累積面積

・プロジェクト実施地の状況（ベースラインシナリオ）

…プロジェクト対象森林内のスギ人工林は、現時点で過密状態、若しくは今後において過密状態となるため、適切に間伐を行うことが必要な状況にある。

6. プロジェクトの実施方法（間伐作業の基準と実施方法）

(1) 間伐作業の基準

間伐作業は、下記の「間伐の標準的な基準」に基づいて実施します。

間伐の標準的な基準

項目	方法・基準
伐採率	30%程度
方法	定量間伐
間伐実施間隔	5～15年
仕立て	長伐期（大径材）

※ 上記を標準とし、林の状態や立地環境により実施で微修正する。

(2) 間伐作業の実施方法

間伐作業は、以下の「間伐作業の流れ」のとおり実施します。

間伐は主として「保育間伐」を実施していますが、一部では間伐材を用材などに利用する「利用間伐」も実施しています。

※間伐材は用材として利用するほか、おがくず（キノコ栽培の菌床に利用）等に利用することで利用促進することとしている。

間伐作業の流れ

